

大崎が開幕10連勝、2位争いは湧永が大同に快勝～
～第32回日本ハンドボールリーグ第10週～

第32回日本ハンドボールリーグ第10週は岩手などで男子4試合が行われ、首位の大崎電気がトヨタ紡織の挑戦をはねつけて開幕10連勝を飾った一方、大同特殊鋼の追い上げをかわした湧永製薬が2位に浮上した。そのほかトヨタ車体と北陸電力が1点差の接戦を制して白星を握った。

大崎-紡織戦はスタートから大崎の攻撃が絶好調。中川のポストで先制すると6分までに7連続ゴールを奪い、一気に紡織を突き放した。その後も大崎は猪俣の速攻、サイドなどで加点。紡織も阪のポストを中心に反撃に転じたものの、大崎はエース宮崎のカットイン、岩永のロングなどで着実に加点、18-10と8点リードで前半を終えた。後半に入り、紡織は中島のミドル、村上の速攻が決まり出し、センター海道の効果的なパスワークもあってリズムを作るものの、大崎も速攻やリスタートのチャンスを活かし、そのまま優位をキープして4点差で逃げ切った。

2位争いで注目された大同-湧永戦は、湧永が福田、古家、東らバックプレーヤー陣を中心に得点を重ね、10分7-4と序盤の主導権を握った。大同はクイックスタートや白のカットイン、末松のミドルなどで食らいついたが、湧永はGK坪根がファインセーブを連発、18分過ぎから3連打を決めたポスト武藤やシャープなサイドプレーで得点にからんだ新ら若手の活躍もあって17-12で前半終了。後半、大同は高い位置からプレッシャーをかける3:2:1DFにチェンジしたが、これにすぐに対応した湧永は、パワープレーチャンスを活かしての3連取などで13分26-16と大量10点のリードを奪った。このあと大同は白、岸川らで懸命に追撃したが、要所のノーマークチャンスを湧永・坪根に阻まれたのが痛く、湧永が29-25と4点差でガッチリと白星を手中にした。



大同のプレスDFをドリブル突破する湧永・下川

4位争いでしのぎを削る車体とHondaの対戦は、車体がGK谷井の7mTシャットアウトや北出、野村の強打、巧打からめて前半16分10-5と先行。Hondaも野嶋の7mTや鶴見のサイドなどでじりじりと差をつめ、なんとか前半のビハインドを11-13と2点差にとどめた。後半に入り、車体はメンバー、ポジションを変えながら試合をコントロール。しかし、必死に粘るHondaは26分25-25の同点に追いつき、このあと両チームの1点をめぐる攻防に会場はヒートアップした。そして27-27の同点で迎えた残り10秒、車体最後の速攻が右サイドの小沢につながり、シュートモーションに入った小沢に対し、たまたまHonda・谷口が1発レッドの反則。判定は車体のノータイム7mTとなり、これを車体・野村がきっちり沈め、苦しみながらも貴重な1勝をあげた。

北陸電力-トヨタ自動車も大接戦。2点ビハインドで後半を迎えた自動車は、山原、高田で先行する北電に対し、福田のミドル、坂口のサイドなどで追撃、15分には栗崎の7mTでこの試合初めてのリードを奪った。ここで北電はタイムアウトを請求して立て直しを図り、25分に23-22と再逆転。勝負の行方は残り5分に持ち込まれ、北電は28分24-24の同点から桜井がカットイン、速攻で2連取すると、このあと2人の退場者を出すピンチを7mTによる1失点に食い止めて辛くも逃げ切った。

次週も埼玉などで男子のみ4試合が行われ、大崎と大同は、それぞれHonda、合成の挑戦を受ける。4位争いで火花を散らす紡織、車体の戦いぶりにも注目。

第11週の日程

- | | | |
|----------|-------------------------------------------------|------------------------|
| 12月8日(土) | ・埼玉・三郷市総合体育館(JR武蔵野線三郷駅バス(金町行き)「総合体育館前」) | 14:00～(男) 大崎電気×Honda |
| | ・福井・北陸電力福井体育館フレア(えちぜん鉄道(勝山行)「観音町」徒歩5分) | 14:00～(男) 北陸電力×トヨタ紡織九州 |
| | ・愛知・知立市福祉体育館(名鉄名古屋本線知立駅徒歩10分) | 14:00～(男) トヨタ車体×トヨタ自動車 |
| 12月9日(日) | ・熊本・天草工業高校体育館(九州産交バス・本渡バスセンター行き「本渡バスセンター」徒歩15分) | 14:00～(男) 豊田合成×大同特殊鋼 |

◆ 12月1日 (土) 男子
岩手・岩手県営体育館

大崎電気 36 (18-10) 2トヨタ紡織九州
18-22) 4勝1分4敗

10勝0分0敗

2/3 3/4 豊田 松野 K
2/3 前田 中島 6/11
2/3 中川 村上直 4/5
2/3 佐藤 植木 0/3
2/3 永島 村上秀 5/7
3/3 岩本 呉相民 2/9
1/2 太田 佐久間 1/1
<0/2> K 濱口 鶴田 0/0
2/2 岩永 海道 2/8
1/1 東 阪 10/12
K 石原 谷川 K
2/2 7/11 猪妻 鈴木 0/1 2/2
3/5 望月 藤山 0/4
4/8 宮崎 船木 0/1

◆ 12月1日 (土) 男子
福井・北陸電力福井体育館フレア

北陸電力 26 (13-11) 2トヨタ自動車
13-14) 0勝0分9敗

4勝0分6敗

<0/4> K 西田 岩田 0/3
2/5 高橋 高野 0/0
3/6 神田 坂口 3/4
2/3 落合 栗崎 3/5 3/3
4/11 桜井 小林 0/0
1/2 前田 多和田 0/0
6/9 高田 佐藤 K
1/1 0/1 杉山 澤田 0/0
0/0 大谷 出會 0/1
0/0 表 稲本 K <0/3>
2/2 5/10 山原 光増 1/7 1/1
0/0 亀田 三上 2/3
0/0 石塚 福田 4/10
K 有江 山口 8/10

2007JHLチャレンジリーグ(女子)
日本リーグ、実業団チーム双方の競技力向上を目的とする2007JHLチャレンジリーグは、第18回世界女子選手権(フランス)のためのブレイク期間を利用して下記の日程で行われ、各チームとも実戦キャリアの少ない控え、若手メンバーを中心に陣容を組み、レベルアップに励んだ。

◎期 間:2007年11月30日(金)~12月2日(日)
◎場 所:大同工業大学体育館(愛知県)
◎参加チーム:日本リーグ=オムロン、広島メイプルレッズ、ソニーセミコンダクタ九州、北国銀行、HC名古屋、三重バイオレットアイリス
実業団=香川銀行T・H

試合結果

日付	時間	対戦
11/30(金)	13:00	三重 10-6 名古屋
	13:40	北国銀行 13-7 香川銀行
	14:20	広島 15-13 オムロン
	15:00	ソニー 16-12 名古屋
	15:40	香川銀行 11-9 三重
	16:20	北国銀行 14-13 広島
	17:00	オムロン 18-10 ソニー
12/1(土)	10:00	香川銀行 13-10 オムロン
	10:40	ソニー 15-9 三重
	11:20	名古屋 14-8 広島
	12:00	北国銀行 16-8 オムロン
	12:40	ソニー 15-14 香川銀行
	13:20	広島 16-12 三重
	14:00	オムロン 16-11 名古屋
	14:40	北国銀行 17-11 ソニー
12/2(日)	15:20	香川銀行 16-10 広島
	16:00	三重 13-10 オムロン
	16:40	北国銀行 18-11 名古屋
	17:20	広島 17-16 ソニー
	10:00	オムロン 18-13 ソニー
	10:40	北国銀行 14-8 オムロン
	11:20	広島 20-12 ソニー
	12:00	香川銀行 13-11 名古屋
12:40	北国銀行 17-11 三重	
13:20	広島 14-12 香川銀行	
14:00	三重 16-8 名古屋	

4/5 32/48 11 (FPP) 11 30/62 2/2
審判(多田・中館) 観客 1444人

3/3 23/47 7 (FPP) 2 21/43 4/4
審判(寺内・細川) 観客 280人

◆ 12月1日 (土) 男子
愛知・枇杷島スポーツセンター

トヨタ車体 28 (13-11) 27 Honda
15-16) 4勝1分5敗

5勝1分5敗

K 木下 中谷 1/2
0/0 高智 鶴見 7/15
1/1 安藤 柳本 1/4 1/2
1/1 5/12 野村 河瀬 0/0
3/3 藤田 竹田 3/6
0/1 近藤 横地 8/13 0/1
0/0 竹下 伊藤 0/0
3/5 北出 青藤 0/0
2/2 小沢 谷口 4/9
3/4 長谷川 吉村 K
4/8 鶴谷 野嶋 0/2 2/2
<2/5> K 谷井 吉井 K <0/1>
2/7 崎前 四方 K
4/9 門山

◆ 12月1日 (土) 男子
愛知・枇杷島スポーツセンター

湧永製薬 29 (17-12) 25 大同特殊鋼
12-13) 7勝1分2敗

7勝2分1敗

K 志水 荻田 K <0/1>
1/4 下川 松林 3/3
0/0 山中 末松 6/12
3/7 福田 浦田 1/4
1/1 7/11 東 富田 1/1
0/1 坪根 地引 1/2
5/8 新 武田 1/5
5/5 武藤 岸川 4/8
0/0 今井 大田 0/1
K 松村 高木 K <0/1>
3/7 古家 李才佑 0/1
0/0 渡辺 千々波 1/1
2/5 山口 白元詰 4/11
1/1 1/4 東長濱 渡久川 3/4

1/1 27/52 11 (FPP) 23 24/51 3/5
審判(池淵・檜崎) 観客 1050人

2/2 27/52 9 (FPP) 9 25/53 0/0
審判(家永・福島) 観客 1136人

Team Topics

大崎電気
OSAKI OSOL



「空を飛び、海を越え、大地を駆ける」



大崎電気ハンドボールはチーム創設以来、赤と黄のシンボルカラーのもと、燃える軍団として異名をとり、球史に輝かしい足跡を残しながら、あくなき勝利を求めて前進を続けています。

チームのセカンドネームは「OSAKI OSOL」。イタリア語で地球の核を意味する「OSOL」(オーソール)には、マグマのごとく熱く燃え、ハンドボール界の中心勢力として活躍しようという決意、さらには97年5月、アジアで初の世界選手権を熊本で開催、20万人を超える大観衆のもとで国内外の注目を集めたハンドボール

を、よりメジャーなものに引き上げたいという強い願いが込められています。また「O.S.O.L」は、英語で「空を飛び、海を越え、大地を駆ける」という頭文字を合わせたものです。

創部から47年が過ぎ、日本リーグチームの中で最も古い歴史を持ちながらも、不変のチャレンジ精神で、さらに新しい伝統づくりに邁進していく決意に変わりありません。

今期は新キャプテン中川をはじめ北京予選を経験した永島、豊田、前田、宮崎、岩永、コーチ兼任の岩本ら、円熟味を増したベテラン勢に加え、中堅、若手の台頭でバランスのよい布陣が形成され、「強い個人」をベースにしたアグレッシブなプレーを展開させてライバルたちに立ち向かっていきます。日本はもちろん、世界の舞台で活躍できるチーム作りが目標。ファンの皆様に大きな感動を持ち帰っていただけるよう、躍動感あふれるハンドボールをお見せしますので、絶大なる応援を宜しくお願いします。

男女個人賞レース 第10週終了

《男子》

《女子》

得点王

1 末松 誠 (大同特殊鋼)	73点	(10試合)	1 上町 史織 (北国銀行)	83点	(9試合)
2 岸川 英誉 (大同特殊鋼)	61点	(10試合)	2 郭 惠 静 (ソニー)	71点	(9試合)
3 香川 将之 (トヨタ車体)	58点	(10試合)	3 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	65点	(9試合)
3 下川 真良 (湧永製薬)	58点	(10試合)	4 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	54点	(9試合)
5 鶴見 拓 (Honda)	56点	(10試合)	5 吉田 祥子 (オムロン)	51点	(9試合)
6 山口 恭裕 (トヨタ自動車)	55点	(9試合)	6 横嶋 かおる (北国銀行)	46点	(9試合)
7 白 元 喆 (大同特殊鋼)	52点	(9試合)	7 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	43点	(9試合)
8 呉 相 民 (トヨタ紡織九州)	51点	(9試合)	8 菅谷 美奈 (HC名古屋)	42点	(9試合)
8 宮崎 大輔 (大崎電気)	51点	(10試合)	9 田中 美音子 (ソニー)	40点	(9試合)
8 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	51点	(9試合)	10 佐久川 ひとみ (オムロン)	37点	(8試合)
11 猪妻 正活 (大崎電気)	49点	(9試合)	10 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス)	37点	(9試合)
11 豊田 賢治 (大崎電気)	49点	(8試合)	12 大前 典子 (メイプルレッズ)	35点	(9試合)
11 門山 哲也 (トヨタ車体)	49点	(10試合)	12 坂元 智子 (オムロン)	35点	(9試合)
14 東 慶 一 (湧永製薬)	47点	(10試合)	12 長野 かづさ (ソニー)	35点	(9試合)
15 神田 友和 (北陸電力)	46点	(10試合)	15 橋本 寛子 (バイオレットアイリス)	34点	(9試合)

フィールド得点賞

1 末松 誠 (大同特殊鋼)	69点	(10試合)	1 郭 惠 静 (ソニー)	64点	(9試合)
2 下川 真良 (湧永製薬)	58点	(10試合)	2 上町 史織 (北国銀行)	51点	(9試合)
3 鶴見 拓 (Honda)	56点	(10試合)	2 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	51点	(9試合)
4 岸川 英誉 (大同特殊鋼)	52点	(10試合)	4 横嶋 かおる (北国銀行)	46点	(9試合)
5 宮崎 大輔 (大崎電気)	51点	(10試合)	5 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	43点	(9試合)
5 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	51点	(9試合)	6 佐久川 ひとみ (オムロン)	36点	(8試合)
5 山口 恭裕 (トヨタ自動車)	51点	(9試合)	6 菅谷 美奈 (HC名古屋)	36点	(9試合)
8 門山 哲也 (トヨタ車体)	49点	(10試合)	6 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	36点	(9試合)
9 神田 友和 (北陸電力)	46点	(10試合)	9 大前 典子 (メイプルレッズ)	35点	(9試合)
10 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	44点	(9試合)	9 坂元 智子 (オムロン)	35点	(9試合)
			9 長野 かづさ (ソニー)	35点	(9試合)

シュート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	44点/ 63射 0.698	1 横嶋 かおる (北国銀行)	46点/ 62射 0.742
2 下川 真良 (湧永製薬)	58点/ 91射 0.637	2 佐久川 ひとみ (オムロン)	36点/ 49射 0.735
3 岸川 英誉 (大同特殊鋼)	52点/ 82射 0.634	3 大前 典子 (メイプルレッズ)	35点/ 49射 0.714
4 末松 誠 (大同特殊鋼)	69点/ 124射 0.556	4 坂元 智子 (オムロン)	35点/ 51射 0.686
5 鶴見 拓 (Honda)	56点/ 101射 0.554	5 上町 史織 (北国銀行)	51点/ 83射 0.614

7mスロー得点賞

1 香川 将之 (トヨタ車体)	29点	(10試合)	1 吉田 祥子 (オムロン)	36点	(9試合)
2 渡久山 慶一 (豊田合成)	11点	(9試合)	2 上町 史織 (北国銀行)	32点	(9試合)
2 東 慶 一 (湧永製薬)	11点	(10試合)	3 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	29点	(9試合)
4 猪妻 正活 (大崎電気)	10点	(9試合)	4 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス)	22点	(9試合)
4 山原 佑太 (北陸電力)	10点	(10試合)	5 東 サヤカ (ソニー)	15点	(9試合)

7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 木下 国大 (トヨタ車体)	8本/ 19射 0.421	1 飛田 季実子 (ソニー)	9本/ 22射 0.409
2 松野 雅崇 (トヨタ紡織九州)	7本/ 18射 0.389	2 木澤 尚子 (北国銀行)	7本/ 21射 0.333
3 谷川 一寿 (トヨタ紡織九州)	7本/ 21射 0.333	3 田代 ひろみ (北国銀行)	8本/ 25射 0.320
4 西田 豊三 (北陸電力)	5本/ 17射 0.294	4 森田 由美 (バイオレットアイリス)	5本/ 16射 0.313
5 濱口 靖 (大崎電気)	7本/ 25射 0.280	5 高森 妙子 (メイプルレッズ)	10本/ 33射 0.303

第32回日本ハンドボールリーグ成績表

第10週終了 12月1日

順位	男子	大崎電気	湧永製薬	大同特殊鋼	トヨタ車体	トヨタ紡織九州	Honda	北陸電力	豊田合成	トヨタ自動車	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大崎電気	39	33	40 35	39 36	31	36	38	43	10	10	0	0	20	370	277	93	
2	湧永製薬	27	31 29	31	29	32	29 40	38	45	10	7	2	1	16	331	243	88	
3	大同特殊鋼	39	31 25	41	32	32	36	46	39 41	10	7	1	2	15	352	272	80	
4	トヨタ車体	34 32	28	31	31	25 28	35	34 43	37	11	5	1	5	11	358	327	31	
5	トヨタ紡織九州	27 32	29	31	25	32	35	39	43	9	4	1	4	9	293	269	24	
6	H o n d a	23	23	25	25 27	25	28	35 38	32	10	4	1	5	9	281	278	3	
7	北陸電力	31	32	32	25 28	32	21	24 29	24	10	4	0	6	8	254	305	-51	
8	豊田合成	28	9 22	27	36	23	28	27	33 26	10	4	0	6	8	254	305	-51	
9	トヨタ自動車	24	21	25	27 23	32	24 29	27	27	9	0	0	9	0	232	340	-108	
		38	38	46	34 43	39	35 38	29										
		21	16	21 19	17	22	24	14 25		9	0	0	9	0	179	339	-160	
		43	45	39 41	37	43	32	33 26										

順位	女子	ソニーセミコンダクタ九州	オムロン	北国銀行	広島メイプルレッズ	三重バイオレットアイリス	H C 名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差	
1	ソニーセミコンダクタ九州	24 37	22 27	29	28 33	46 35	9	7	0	2	14	281	213	68		
2	オムロン	25 29	25 29	35 20	36 29	31	31 29	9	7	0	2	14	265	223	42	
3	北国銀行	24 37	27 29	27 29	34 25	15	12 20	9	6	0	3	12	252	208	44	
4	広島メイプルレッズ	21 26	35 20	26 22	27 27	31 30	34	9	6	0	3	12	252	208	44	
5	三重バイオレットアイリス	22 27	34 25	26 22	26 22	23 15	18	9	4	1	4	9	258	243	15	
6	H C 名古屋	32	34 25	26 22	24 33	33 29	33 29	9	4	1	4	9	258	243	15	
		29	36 29	27 27	24 30	15 26	15 26									
		25 23	15	23 15	24 30	27 25	27 25	9	2	1	6	5	207	246	-39	
		28 33	31	31 30	24 33	20 16	20 16									
		18 14	12 20	18	15 26	20 16	20 16	9	0	0	9	0	159	289	-130	
		46 35	31 29	34	33 29	27 25	27 25									

この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。
 同勝点の場合は、1.対戦間勝点 2.対戦間得失点差 3.総得失点差 4.総得点 の多い順で順位付けしています。